

2019年 12月9日夕刊

左の新聞記事を読んで、問いに答えましょう。

①記事の吉野彰さんが受賞したのはノーベル賞のうち、何賞か書きなさい。

ノーベル()賞

②吉野彰さんが開発した電池は何電池か書きなさい。

()電池

③吉野さんは「持続可能な社会は実現できる」と話している。どうしたら、持続可能な社会をつくることができると思うか。記事を参考に、あなたの考えを30字以上40字以内で、下のマス目書きなさい。



ストックホルム大で受賞記念講演をする吉野彰・旭化成名誉フェロー
＝8日、ストックホルム(共同)

「ストックホルム共の吉野彰名誉フェロー」や経済、便利な生活のリチウムイオン電(71)が8日、ストックホルム大の講堂で受賞の持続可能な社会の池の開発でノーベル化ホルム大の講堂で受賞の持続可能な社会の学賞に決まった旭化成記念講演をした。環境りに「リチウムイオン

吉野氏、ノーベル記念講演

持続可能な社会「電池が中心的役割」

電池が中心的な役割を果たす」と話した。

―関連記事9面へ

タイトルは「リチウムイオン電池の開発経緯とこれから。冒頭「大学ではなく企業研究者の私が受賞したことには日本中が大変興奮したと切り出した。吉野氏は、蓄電池を積んだ電気自動車(EV)が普及した未来社会の構想を動画で紹介。人工知能(AI)による自動運転を組み合わせた未来社会から電池ができるまでを講演では、生い立ちから電池ができるまでを講演では、生い立ち

合わせれば事故や渋滞の流れも紹介。小学校がなく。車をみんな共有すれば手近な空車を呼んで使うことができ、個人の費用負担も抑えられるという。

京都大を経て旭化成に入ってから、白川英樹筑波大名誉教授(83)が発見した電気を流せるプラスチックを使って電池の開発を開始。最後は負極に炭素材料を使って基本構成を決めたことや、実験で試作品を破壊しても炎上せず、安全で実用化が可能だと確信した

←30字

←40字

年 組 名前